

心を HUG～つながりの中で～ 令和元年度第2回子育てサポータースキルアップ講座 開催概要



「第2回子育てサポータースキルアップ講座」を開催しました。地域の子育て支援や家庭教育支援に携わっている方約60名の参加がありました。「地域社会で何ができるか」を基本テーマに、講演・ラウンドテーブルを実施しました。

令和元年8月6日（火）午後1時～同4時30分 京都府田辺総合庁舎で開催！！



【講演】「発達段階に応じた子どもへの接し方」

宇治田原町立維孝館中学校スクールカウンセラー・臨床心理士

吉澤 紀子 様

- ・「思いを馳せる」ということは「相手の身になって考える」ということだと思いながら聞きました。それぞれの年齢でどう成長していくのか、どう対処していけば良いのかなど、よく分かり、納得のいく講演でした。
- ・自分の思春期時代も思い出し、「そうそう・・・」と納得しました。説得力もあり、とても良かったです。
- ・「傾聴」する事の難しさや大切さに気づけました。
- ・今日の講演を聴いて初心に戻れたような気がしました。
- ・子育て世代がこの講演を聞いた方が良いと思いました。
- ・自己効力感のもてる子に成長できるよう、周りの者がどのように関われば良いか、改めて大切なことを教えてもらいました。
- ・子どもの心を代弁することは心がけてきたが、論理的に必要な理由が分かって良かったです。

参加者の声

- ・様々な立場の人たち、世代の違う人たちと話ができ良かったです。
- ・他市町の方々の状況を知ることができました。
- ・みなさん、同じ悩みを持っているのだと思い、気が楽になりました。
- ・子育ては時代がちがっても基本は同じだと思いました。
- ・初対面でも和気あいあいと話せてよい雰囲気でした。
- ・学校や地域の活動に熱い思いを持っておられる方と話ができ良かったです。

ラウンドテーブル



はぐくみネットワーク推進協議会委員の皆さまからの一言

山城教育局では、「やましろ未来っ子はぐくみネットワーク地域支援事業」において、「やましろ未来っ子はぐくみネットワーク推進協議会」を設置しています。本協議会では、山城地方における家庭教育支援の実態を把握するとともに、積極的かつきめ細やかな家庭教育支援に向けたネットワークづくりを推進し、社会総がかりで子どもを守り育てる環境づくりを進めるため、意見をいただいています。子育てサポータースキルアップ講座の企画運営にも携わっていただいている8名の委員様には、それぞれコメントをいただいております。今回は3名の方を御紹介します。



川井 利彦 委員

宇治市立御蔵山小学校長の川井と申します。家庭では三人の娘が独立し、静岡、仙台、滋賀とそれぞれに暮らしており、孫から「じーちゃん」と呼ばれる生活を楽しんでいます。さて、これから子どもたちが生きていく社会は予測がつかないと言われていています。そんな時代だから親はどうしても我が子に「ラク」をさせたいと思うのですが、それは考えものです。

人間の本当の幸せとは、「充実感のある生き方」だと思います。努力を必要としない仕事に充実感はないでしょう。山登りに生きがいを感じるのは、山登りが大変だからです。「ラク」じゃないからこそ、充実感があるのだと思います。

それ故、人生におけるどんな波風にも耐えて、真っ直ぐに自分の道を歩いて行けるような力と知恵を子どもに与えておくことが、一番正しい親の愛情だと思います。

”おはぎ〜”（愛犬黒のトイプードル）と登校班の子たちが呼んでくれるので、”おはよう””気をつけて行ってらっしゃい”と笑顔で見送って、1日の活動が始まります。

松井ヶ丘で、民生児童委員を仰せつかって15年になります。身近で子たちの成長を見守れたり、若いお母さまたちの悩みを聞いたり、住民の皆さまと一緒に過ごさせて頂けて嬉しいです。

これからも顔の見える横の繋がりを大切に活動していきたいと思っています。



島谷 千織 委員

山城地方PTA連絡協議会で副会長を務めております青木です。保護者としての立場、視点から、委員として微力ながらお役にたてればと思っております。

森川会長をはじめ、委員の皆さまの御意見をお聞きし、子育てへの見識を深めることで私自身も成長し、子どもたちの未来、そして地域の未来作りに貢献できれば幸いです。



青木 英明 委員

ラウンドテーブルには、はぐくみ委員の皆さまと講師の吉澤先生にも参加していただきました。各グループからの発表後、吉澤先生、森川会長からそれぞれコメントをいただきました。

